

第38回景況調査報告書

平成 29 年 11 月 7 日  
記者発表資料

平成 29 年 8 月実施

1 調査概要( 回答企業のプロフィール)

小田原箱根商工会議所では、管内商工業者の最新の景況感や経営状況を把握し、今後の当会議所の諸施策等に資するため、会員各位の協力を得て平成 29 年 8 月下旬にこのアンケート調査を実施した。

今回は、会員 1,000 社(前回 1,000 社)を対象に調査を行い、542 社から回答を得た。回答率は 54.2%(前回 54.6%)となり、前回より 0.4 ポイント下がった回答結果となった。

① 所在地別

回答企業のうち小田原市内所在の事業所は、437 社(80.6%)。このうち市内中心市街地にある事業所は、141 社(26.0%)、中心市街地以外にある事業所は 296 社(54.6%)となっている。また箱根町にある事業所は 105 社(19.4%)となっている。

地区別回答者状況

	全 体	小 田 原 市			箱根町
		計	中心市街地	中心市街地以外	
調査対象	1,000	830	287	543	170
回答者数	542	437	141	296	105
回 答 率	54.2	52.7	49.1	54.5	61.8

② 業種別

業種別では、商業(卸売業、小売業、飲食・観光業)255 社(47.0%)、製造業 69 社(12.7%)、サービス業 73 社(13.5%)、建設業 92 社(17.0%)となっており、非製造業の回答内容が大きく反映されたものとなっている。

※今回調査より、業種数を前回以前の 11 業種より 8 業種に集約した。小田原・箱根地域の産業特徴を踏まえ、前回調査までの飲食業、土産品小売業、交通運輸業、ホテル旅館業を、今回より『飲食・観光業』に集約した。

地区別業種別回答者状況

	全 体		小 田 原 市						箱根町	
			計		中心市街地		中心市街地以外		企業数	構成比
	企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比		
全体	542	100	437	100	141	100	296	100	105	100
	100		80.6		26.0		54.6		19.4	
1 製造業	69	12.7	67	15.3	9	6.4	58	19.6	2	1.9
2 卸売業	58	10.7	47	10.8	12	8.5	35	11.8	11	10.5
3 小売業	93	17.2	80	18.3	38	27.0	42	14.2	13	12.4
4 飲食・観光	104	19.2	65	14.9	27	19.1	38	12.8	39	37.1
5 建設業	92	17.0	74	16.9	8	5.7	66	22.3	18	17.1
6 不動産業	35	6.5	30	6.9	16	11.3	14	4.7	5	4.8
7 サービス	73	13.5	58	13.3	24	17.0	34	11.5	15	14.3
8 その他	18	3.3	16	3.7	7	5.0	9	3.0	2	1.9

※中心市街地の数値は栄町 1・2・3 丁目、浜町 3・4 丁目、本町 1・2・3・4 丁目、城内、南町 1・2・3・4 丁目、城山 1・4 丁目、板橋、南板橋、早川 1 丁目の数値を合算したもの。

※中心市街地とは、平成 11 年 3 月に策定された小田原市中心市街地活性化基本計画によるもので、小田原駅を中心とした 300ha が対象。

③ 従業員数規模別

従業員規模別では、20人までの企業 393社(73.2%)、21人から50人までの企業 68社(12.7%)、51人から100人までの企業 30社(5.6%)、101人から300人までの企業 31社(5.8%)、301人以上の企業は 15社(2.8%)となっており、従業員100人以下の企業 499社(92.4%)の回答内容が大きく反映されたものとなっている。(6社未回答)

従業員規模別回答者状況

	全 体		～20人		21～50人		51～100人		101～300人		301人～	
	企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比
全体	537	100.0	393	100.0	68	100.0	30	100.0	31	100.0	15	100.0
	100.0		73.2		12.6		5.6		5.8		2.8	
01 製造業	69	12.8	41	10.4	12	17.6	4	13.3	6	19.4	6	40.0
02 卸売業	58	10.8	47	12.0	8	11.8	1	3.3	1	3.2	1	6.7
03 小売業	93	17.3	76	19.3	7	10.3	6	20.0	2	6.5	2	13.3
04 飲食・観光業	101	18.8	60	15.3	16	23.5	11	36.7	12	38.7	2	13.3
05 建設業	91	16.9	81	20.6	9	13.2	1	3.3	0	0.0	0	0.0
06 不動産業	34	6.3	32	8.1	1	1.5	0	0.0	1	3.2	0	0.0
07 サービス業	73	13.6	44	11.2	14	20.6	6	20.0	7	22.6	2	13.3
08 その他の業種	18	3.4	12	3.1	1	1.5	1	3.3	2	6.5	2	13.3

※6社未回答 全542社

④調査内容の変更

第38回調査より、以下の点について調査方法を変更した。

- (a) 集計業種を11⇒8業種に集約した。
- (b) 事業形態に関する設問を廃止した。
- (c) 「在庫」推移に関する設問を廃止した。
- (d) 「設備投資」に関する現況調査について、調査票の回答選択肢を変更した  
 旧：①増加 ②不変 ③減少 ⇒ 新：①実施した ②実施しない

これにより、第38回調査より、設備投資項目についてはDI値方式での集計から、全回答数を100とした設備投資実施比率での集計に変更した。

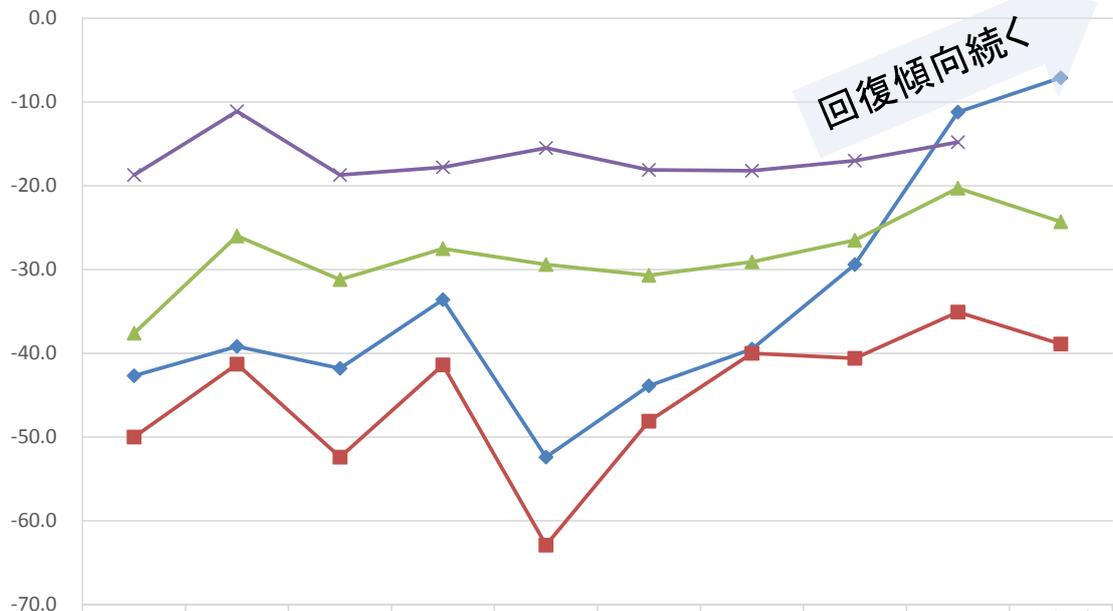
## 2 今回の調査結果のポイント

### 小田原箱根エリアの業況DIは 18.2ポイント上昇

### 大涌谷火山活動による落ち込みからの回復傾向続く

- ・小田原箱根エリアの業況DIは前回▲29.4⇒今回▲11.2(プラス18.2ポイント)。すべての地区において回復傾向。大涌谷火山活動時の落ち込みからの回復傾向が続いており、半年後のDI見通しでも神奈川県平均を上回る。
- ・地域全体の回復基調を受け、売上増加、販売価格の上昇、資金繰りなどのプラス面が見えつつある一方で、経常利益については若干低下と踊り場にきている。人員・雇用問題は依然苦戦しているものの今後は確保していけるという見通しも。
- ・製造業を除くすべての業種で回復傾向を示している。製造業は過去3回の回復傾向がいったん踊り場に来ている。
- ・小田原市・箱根町ともに大幅な回復傾向を示している。

業況判断DIの推移



	H25.8	H26.2	H26.8	H27.2	H27.8	H28.2	H28.8	H29.2	H29.8	半年後予測
小田原箱根	-42.7	-39.2	-41.8	-33.6	-52.4	-43.9	-39.5	-29.4	-11.2	-7.1
足柄・西湘地域	-50.0	-41.3	-52.4	-41.4	-62.9	-48.1	-40.0	-40.6	-35.1	-38.9
神奈川県	-37.6	-26.0	-31.2	-27.5	-29.4	-30.7	-29.1	-26.5	-20.3	-24.3
全国	-18.7	-11.1	-18.7	-17.8	-15.5	-18.1	-18.2	-17.0	-14.8	

足柄・西湘地域、神奈川県：神奈川県産業振興センター「中小企業景気動向調査」

全国：中小企業庁「中小企業景況調査」

- ・神奈川県の業況DIは、マイナス20.3であり、足柄上・西湘地区業況は、マイナス35.1である。当会議所調査業況マイナス11.2は、全国、神奈川県全体、足柄上・西湘地区より良い状況である。そして、当会議所業況増減(プラス18.2ポイント)は、神奈川県全体の増減(プラス6.2ポイント)、足柄上・西湘地区の増減(プラス5.5ポイント)より非常に良い状況である。半年後の当会議所業況見通しマイナス7.1は、神奈川県全体業況マイナス24.3、足柄上・西湘地区業況マイナス38.9に比べて良い見通しである。

### 3 調査結果

#### 【総合】

#### ◎ 現況総合業況 DI は、雨時々曇り模様が続く。

現況総合業況 DI は、マイナス 11.2(プラス 18.2 ポイント)と大幅に改善している。

現況経営状況では、売上高 DI は、マイナス 12.9(プラス 5.2 ポイント)と改善。

経常利益 DI は、マイナス 18.4(マイナス 2.2 ポイント)とほぼ横ばいで悪化している。

◇全般的に回復傾向が続いている。

売上高、販売料金価格の回復によって、資金繰りの改善につながっている様子が見受けられる。

#### ◎ 半年後の総合業況 DI 見通しも、雨時々曇り模様。

半年後の総合業況 DI 見通しは、マイナス 7.1(現況と比べてプラス 4.1 ポイント)とやや改善見通しである。

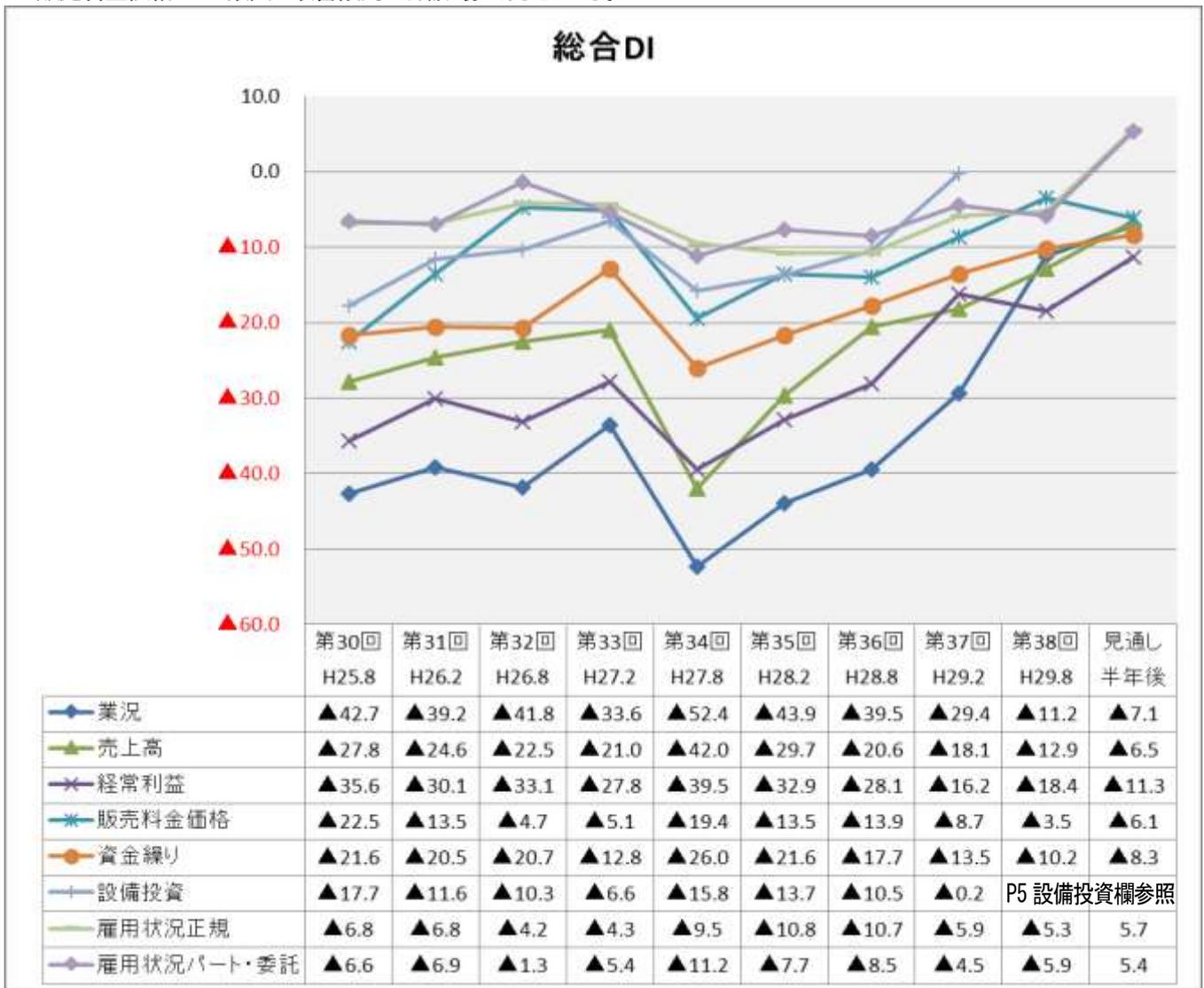
半年後の経営見通しでは、売上高 DI は、マイナス 6.5(現況と比べてプラス 6.4 ポイント)と改善見通しであり

経常利益 DI は、マイナス 11.3(現況と比べてプラス 7.1 ポイント)と改善見通しである。

◇全般的に緩やかな回復見通しである。

今後も、売上高、経常利益、雇用状況の回復によって、資金繰りの改善につながるであろうという判断が推測される。

販売料金価格はここ数回の改善傾向から踊り場にあるといえる。



#### 【参考】これまでの DI 見通しの推移

	H26.2見通し	H26.8見通し	H27.2見通し	H27.8見通し	H28.2見通し	H28.8見通し	H29.2見通し	H29.8見通し
業況	-19.8	-27.8	-24.2	-16.5	-31.9	-23.7	-20.1	-10.7
売上高	-20.5	-26.7	-21.0	-13.0	-32.5	-23.7	-19.1	-11.7
経常利益	-27.4	-34.4	-29.2	-22.6	-38.8	-30.5	-24.4	-19.9
販売料金価格	-19.5	-1.5	-6.9	0.2	-15.8	-9.9	-12.2	-7.8
資金繰り	-20.5	-23.8	-20.7	-15.0	-28.0	-19.1	-17.5	-12.5
設備投資	-71.4	-66.8	-64.0	-57.2	-62.7	-58.0	-58.6	-58.6
雇用状況(正規)	6.2	7.7	11.9	11.5	14.6	16.8	17.5	18.6
雇用状況(パート・委託)	4.3	8.4	10.5	12.0	11.2	13.4	16.9	18.3

【設備投資実施(予定)比率】

	全体	小田原市		箱根町
		中心市街地	中心市街地以外	
現況	25.5%	26.5%	23.5%	29.7%
半年後見通し	18.3%	22.6%	18.7%	11.7%

	全体	製造業	卸売業	小売業	飲食・観光	建設業	不動産業	サービス業	その他の業種
現況	25.5%	27.7%	14.0%	18.9%	49.0%	12.6%	17.6%	26.5%	26.7%
半年後見通し	18.3%	26.5%	8.8%	15.4%	26.2%	8.9%	22.9%	17.4%	31.3%

第38回調査より、設備投資については実施比率(実施予定比率)にて集計している。全体と比べて、地域では箱根町、業種では飲食観光業が、設備投資を行った比率が高い。箱根方面の観光に関して景気が上向いており、設備投資需要も起こっているという状況が見受けられる。

【業種概要】

◇ 業種天気図

○ 現況天気模様

- 大幅改善業種 : 卸売業、小売業、建設業、不動産業、サービス業、観光・飲食業
- 改善業種 : その他の業種
- ほぼ横ばい業種 : 製造業

○(現況と比べて)半年後見通し天気模様

- 大幅改善見通し業種 : 製造業
- 改善見通し業種 : 小売業、建設業、不動産業
- やや改善見通し業種 : 飲食・観光業
- ほぼ横ばい見通し業種 : 卸売業
- 悪化見通し業種 : サービス業
- 大幅悪化見通し業種 : その他の業種

	第30回	第31回	第32回	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回	第38回H29年8月	
	H25年8月	H26年2月	H26年8月	H27年2月	H27年8月	H28年2月	H28年8月	H29年2月	現況	半年後
総合	-42.7	-39.2	-41.8	-33.6	-52.4	-43.9	-39.5	-29.4	-11.2	-7.1
小田原市中心市街地	-36.0	-44.0	-47.0	-32.0	-58.0	-52.0	-42.1	-34.8	-22.9	-13.6
小田原市中心市街地以外	-47.2	-37.0	-43.5	-36.9	-41.2	-41.4	-38.5	-28.8	-15.2	-5.8
箱根町	-37.3	-40.2	-26.4	-24.4	-85.9	-40.0	-39.4	-23.2	15.4	-1.9
製造業	-49.6	-38.4	-39.4	-28.3	-42.7	-50.7	-33.4	-28.6	-28.8	-10.3
卸売業	-44.3	-38.5	-55.9	-47.2	-66.0	-57.4	-44.2	-38.0	-8.7	-10.3
小売業	-50.0	-51.6	-62.5	-46.6	-67.0	-56.0	-51.1	-38.6	-26.1	-18.3
飲食・観光業									-0.9	1.9
土産品小売業	-40.0	-36.4	-22.2	-16.7	-87.5	-44.5	-50.0	-33.3		
飲食業	-45.0	-54.5	-45.2	-30.8	-68.4	-51.5	-40.6	-34.1		
ホテル・旅館業	-34.5	25.0	26.1	10.5	-88.2	0.0	-53.3	-16.6		
交通運輸業	-39.4	-19.1	-38.8	-26.7	-50.0	-42.4	-40.7	-25.0		
建設業	-39.9	-49.4	-31.4	-33.3	-25.0	-31.9	-32.4	-25.7	-7.8	0.0
不動産業	-18.2	-32.3	-34.4	-22.9	-48.3	-30.8	-29.6	-25.0	-2.9	2.8
サービス業	-41.6	-31.2	29.2	-30.9	-51.8	-37.1	-40.3	-24.0	-2.7	-10.9
その他の業種	29.4	24.4	-36.9	-42.0	23.8	-34.7	-26.5	-16.0	-6.2	-18.8

天気模様

低調											好調	
▲100	土砂降り	▲50	雨	▲30	雨時々曇り	0	曇り	30	晴れ時々曇り	50	晴れ	100

◇ 業種景況

○ 業種業況 DI 上位3位①飲食・観光業②サービス業③不動産業。 下位3位①製造業②小売業③卸売業。

業況 DI では、製造業を除く業種が回復し、製造業はほぼ横ばいの悪化である。

現況業種業況 DI は、総合業況 DI マイナス 11.2 に比べて良い業種が、飲食・観光業、サービス業、不動産業、その他の業種、卸売業、建設業の 6 業種で、悪い業種が製造業、小売業の 2 業種である。

○ (現況と比べて) 業種業況 DI 見通し

上位3位: ①不動産業②飲食・観光業③建設業 下位3位: ①その他の業種②小売業③サービス業

業況 DI 見通しでは、大幅な改善見通している業種が製造業、大幅な悪化を見通している業種はその他の業種である。

半年後の業種業況 DI は、総合業況 DI 見通し マイナス 7.1 に比べて良い見通しの業種が不動産業、飲食・観光業、建設業の 3 業種で、悪い見通しの業種が製造業、卸売業、小売業、サービス業、その他の業種の 5 業種である。



土産品小売業	-40.0	-36.4	-22.2	-16.7	-87.5	-44.5	-50.0	-33.3
飲食業	-45.0	-54.5	-45.2	-30.8	-68.4	-51.5	-40.6	-34.1
ホテル・旅館	-34.5	-25.0	-26.1	10.5	-88.2	0.0	-53.3	-16.6
交通運輸業	-39.4	-19.1	-38.8	-26.7	-50.0	-42.4	-40.7	-25.0

## 業種別 DI

経営状況DI	全体	製造業	卸売業	小売業	飲食・ 観光業	建設業	不動産 業	サービ ス業	その他 の業種
景況	-11.2	-28.8	-8.7	-26.1	-0.9	-7.8	-2.9	-2.7	-6.2
売上高	-12.9	-28.8	-1.7	-22.5	-1.9	-16.3	-2.9	-11.1	-12.5
経常利益	-18.4	-25.4	-13.8	-22.0	-10.7	-27.8	-5.8	-18.3	-6.6
販売料金価格	-3.5	-9.3	10.6	1.0	3.0	-8.4	-28.5	-3.0	-21.4
資金繰り	-10.2	-13.8	-17.6	-13.9	-1.9	-15.2	14.2	-15.8	0.0
雇用状況正規	-5.3	-4.4	-1.8	-13.2	-12.7	-4.4	0.0	8.5	-6.2
雇用状況パート・委託	-5.9	-1.7	1.9	-10.4	-14.7	-5.5	-3.1	4.6	-20.0
経営状況DI前回増減	全体	製造業	卸売業	小売業	飲食・ 観光業	建設業	不動産 業	サービ ス業	その他 の業種
景況	18.2	-0.2	29.3	12.5	15.1	17.9	22.1	21.3	9.8
売上高	5.2	-1.9	9.2	2.5	14.1	-6.2	7.5	-6.1	23.2
経常利益	-2.2	-12.6	2.6	4.4	25.0	-12.4	1.1	-10.7	4.5
販売料金価格	5.2	7.4	6.9	5.4	14.1	4.1	7.2	2.0	-9.9
資金繰り	3.3	-4.9	-3.0	2.6	9.6	3.7	21.1	-9.4	7.2
雇用状況正規	0.6	-3.1	-5.4	-6.5	-5.5	2.1	0.0	6.0	1.0
雇用状況パート・委託	-1.4	1.0	9.6	-2.2	-10.9	-2.2	-3.1	-3.2	-16.2

## 業種別 DI 見通し

経営見通しDI	全体	製造業	卸売業	小売業	飲食・ 観光業	建設業	不動産 業	サービ ス業	その他 の業種
景況	-7.1	-10.3	-10.3	-18.3	1.9	0.0	2.8	-10.9	-18.8
売上高	-6.5	-14.7	-6.9	-14.0	-1.0	1.1	5.8	-9.9	-18.7
経常利益	-11.3	-23.8	-12.3	-13.9	-5.7	-11.1	5.8	-10.0	-18.7
販売料金価格	-6.1	-12.1	6.9	-1.1	-2.9	-10.9	-14.7	-10.0	-20.0
資金繰り	-8.3	-17.9	-12.1	-15.2	-5.7	-2.3	20.0	-11.5	-12.5
雇用状況正規	5.7	5.9	1.7	7.8	13.1	3.3	3.1	0.0	6.2
雇用状況パート・委託	5.4	3.2	5.5	8.3	9.9	4.1	6.3	-1.5	0.0
経営状況DI前回増減	全体	製造業	卸売業	小売業	飲食・ 観光業	建設業	不動産 業	サービ ス業	その他 の業種
景況	3.6	2.5	-4.9	5.6	10.9	12.7	-4.1	-10.9	1.9
売上高	5.2	0.7	-3.2	11.3	10.0	21.3	2.3	-18.9	6.3
経常利益	8.6	1.8	0.4	19.8	20.1	12.6	5.8	-7.5	-7.6
販売料金価格	1.7	-1.9	5.0	9.9	1.2	7.1	6.8	-10.0	-16.3
資金繰り	4.2	-4.9	7.9	3.1	11.5	12.9	26.9	-18.0	-1.8
雇用状況正規	-12.9	-2.0	-11.2	-7.4	55.0	-14.9	-0.3	-17.9	-4.5
雇用状況パート・委託	-12.9	-3.8	-0.1	-9.3	51.7	-13.1	-5.7	-17.3	-11.6

## 【設備投資実施（予定）比率】

	全体	製造業	卸売業	小売業	飲食・観光	建設業	不動産業	サービス業	その他の業種
現況	25.5%	27.7%	14.0%	18.9%	49.0%	12.6%	17.6%	26.5%	26.7%
半年後見通し	18.3%	26.5%	8.8%	15.4%	26.2%	8.9%	22.9%	17.4%	31.3%

【地区概要】

◇ 地区天気図

現況

- ・小田原市中心市街地は雨模様から雨時々曇り模様に改善。
- ・小田原市中心市街地以外は雨時々曇り模様が続く。
- ・箱根町は雨時々曇り模様から曇り模様に改善。

半年後見通し

- ・小田原市(中心市街地・中心市街地以外)、箱根町ともに雨時々曇り模様が続く。

	第30回	第31回	第32回	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回	第38回 H29年8月	
	H25年8月	H26年2月	H26年8月	H27年2月	H27年8月	H28年2月	H28年8月	H29年2月	現況	半年後
総合	-42.7	-39.2	-41.8	-33.6	-52.4	-43.9	-39.5	-29.4	-11.2	-7.1
小田原市中心市街地	-36.0	-44.0	-47.0	-32.0	-58.0	-52.0	-42.1	-34.8	-22.9	-13.6
小田原市中心市街地以外	-47.2	-37.0	-43.5	-36.9	-41.2	-41.4	-38.5	-28.8	-15.2	-5.8
箱根町	-37.3	-40.2	26.4	24.4	-85.9	-40.0	-39.4	-23.2	15.4	-1.9

天気模様

低調											好調	
▲100	土砂降り	▲50	雨	▲30	雨時々曇り	0	曇り	30	晴れ時々曇り	50	晴れ	100

◇ 地区業況

現況

- ・地区業況DIは、箱根町、小田原市中心市街地以外、小田原市中心市街地の順。
- ・地区業況DIの推移は、箱根町が大幅な改善。

地区業況DIは、箱根町プラス15.4、小田原市中心市街地以外マイナス15.2、小田原市中心市街地マイナス22.9の順である。地区業況DIの推移では、箱根町(プラス38.6ポイント)、小田原市中心市街地以外(プラス13.6ポイント)、小田原市中心市街地(プラス11.9ポイント)ともに大幅な改善傾向である。

半年後見通し

- ・地区業況DI見通しは、箱根町、小田原市中心市街地以外、小田原市中心市街地の順。
- ・地区業況DI見通しの推移は、小田原市中心市街地、小田原市中心市街地以外が改善見通し、箱根町が大幅な悪化見通し。

半年後の地区業況DI見通しは、箱根町マイナス1.9、小田原市中心市街地以外マイナス5.8、小田原市中心市街地マイナス13.6の順である。

現況と比べての半年後の地区業況DI見通しの推移では、小田原市中心市街地以外(プラス9.4ポイント)、小田原市中心市街地(プラス9.3ポイント)が改善見通し、箱根町(マイナス13.5ポイント)が大幅な悪化見通しである。

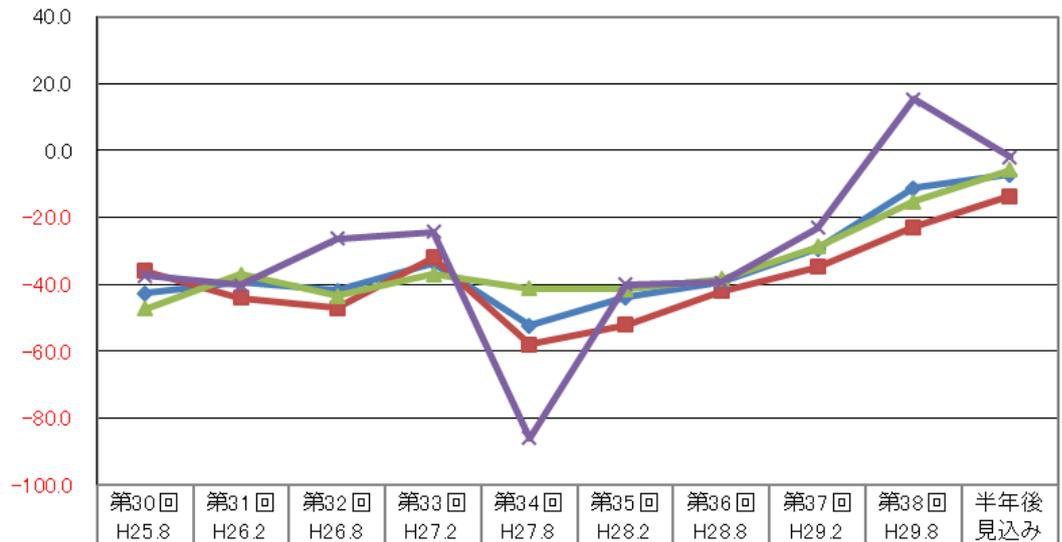
地区経営判断結果

	経営状況				経営見通し			
	全体	小田原市中心市街地	小田原市中心市街地以外	箱根町	全体	小田原市中心市街地	小田原市中心市街地以外	箱根町
業況判断DI	-11.2	-22.9	-15.2	15.4	-7.1	-13.6	-5.8	-1.9
売上高DI	-12.9	-20.2	-18.4	12.4	-6.5	-10.0	-6.2	-2.8
経常利益DI	-18.4	-20.7	-23.6	0.0	-11.3	-14.3	-12.8	-2.9
販売料金価格DI	-3.5	-2.2	-7.2	5.0	-6.1	-2.9	-7.5	-6.9
資金繰りDI	-10.2	-13.7	-11.5	-1.9	-8.3	-14.3	-5.9	-6.8
雇用状況正規DI	-5.3	-5.8	-4.8	-5.7	5.7	7.4	4.9	5.9
雇用状況パート・委託DI	-5.9	-9.2	-6.2	-1.0	5.4	6.9	5.0	4.1

【設備投資実施(予定)比率】

	全体	小田原市		箱根町
		中心市街地	中心市街地以外	
現況	25.5%	26.5%	23.5%	29.7%
半年後見通し	18.3%	22.6%	18.7%	11.7%

地区別業況推移



	第30回 H25.8	第31回 H26.2	第32回 H26.8	第33回 H27.2	第34回 H27.8	第35回 H28.2	第36回 H28.8	第37回 H29.2	第38回 H29.8	半年後 見込み
総合	-42.7	-39.2	-41.8	-33.6	-52.4	-43.9	-39.5	-29.4	-11.2	-7.1
小田原市中心市街地	-36.0	-44.0	-47.0	-32.0	-58.0	-52.0	-42.1	-34.8	-22.9	-13.6
小田原市中心市街地以外	-47.2	-37.0	-43.5	-36.9	-41.2	-41.4	-38.5	-28.8	-15.2	-5.8
箱根町	-37.3	-40.2	-26.4	-24.4	-85.9	-40.0	-39.4	-23.2	15.4	-1.9

【参考】これまでのDI見通しの推移

	H26.2見通し	H26.8見通し	H27.2見通し	H27.8見通し	H28.2見通し	H28.8見通し	H29.2見通し	H29.8見通し
総合	▲19.8	▲27.8	▲24.2	▲16.5	▲31.9	▲23.7	▲23.7	▲10.7
小田原市中心市街地	▲22.0	▲27.0	▲31.0	▲15.0	▲42.0	▲28.0	▲28.0	▲15.5
小田原市中心市街地以外	▲18.5	▲30.2	▲22.4	▲16.3	▲16.9	▲25.3	▲25.3	▲14.7
箱根町	▲22.0	▲20.5	▲18.7	▲20.0	▲74.4	▲11.8	▲11.8	6.5

地区業種景況判断結果

	経営状況				経営見通し			
	全体	小田原市中 心街地	小田原市中 心街地以外	箱根町	全体	小田原市中 心街地	小田原市中 心街地以外	箱根町
総合	-11.2	-22.9	-15.2	15.4	-7.1	-13.6	-5.8	-1.9
製造業	-22.9	-66.7	-23.6	0.0	-13.6	-22.2	-8.8	0.0
卸売業	-15.2	-41.7	-17.1	54.5	-5.8	-33.3	-11.4	18.2
小売業	15.4	-36.8	-26.8	7.7	-1.9	-26.3	-16.7	0.0
飲食・観光業	-26.1	0.0	-66.7	28.6	-18.3	-50.0	-33.3	0.0
建設業	-20.0	0.0	-10.7	0.0	-10.0	25.0	0.0	-11.1
不動産業	-8.9	-25.0	7.7	40.0	6.6	-18.8	28.6	0.0
サービス	-7.8	4.2	-8.8	0.0	0.0	-4.2	-11.7	-20.0
その他の業種	0.0	0.0	0.0	-50.0	2.8	0.0	-25.0	-50.0

【小田原市中心市街地地区】 現況は、雨から雨時々曇り模様<sup>☔</sup>に改善<sup>☀</sup>。半年後見通しは、雨時々曇り模様<sup>☔</sup>が続く<sup>☀</sup>。

○ 現況小田原市中心市街地業況 DI は、大幅な改善。

売上高 DI、経常利益 DI ともに、ほぼ横ばいの改善。

大幅な改善業種 : 卸売業(プラス 15.5 ポイント)、飲食・観光業(プラス 35.2 ポイント)、サービス業(プラス 24.2 ポイント)、  
その他の業種(プラス 20.7 ポイント)

大幅な悪化業種 : 建設業(マイナス 50.0 ポイント)

○ (現況と比べて)半年後の小田原市中心市街地業況 DI 見通しは、改善見通し。

売上高 DI 見通しは大幅な改善見通し、経常利益 DI 見通しは改善見通し。

大幅な改善見通し業種 : 製造業(プラス 44.5 ポイント)、小売業(プラス 10.5 ポイント)、観光・飲食業(プラス 11.1 ポイント)、  
建設業(プラス 25.0 ポイント)

大幅な悪化見通し業種 : なし

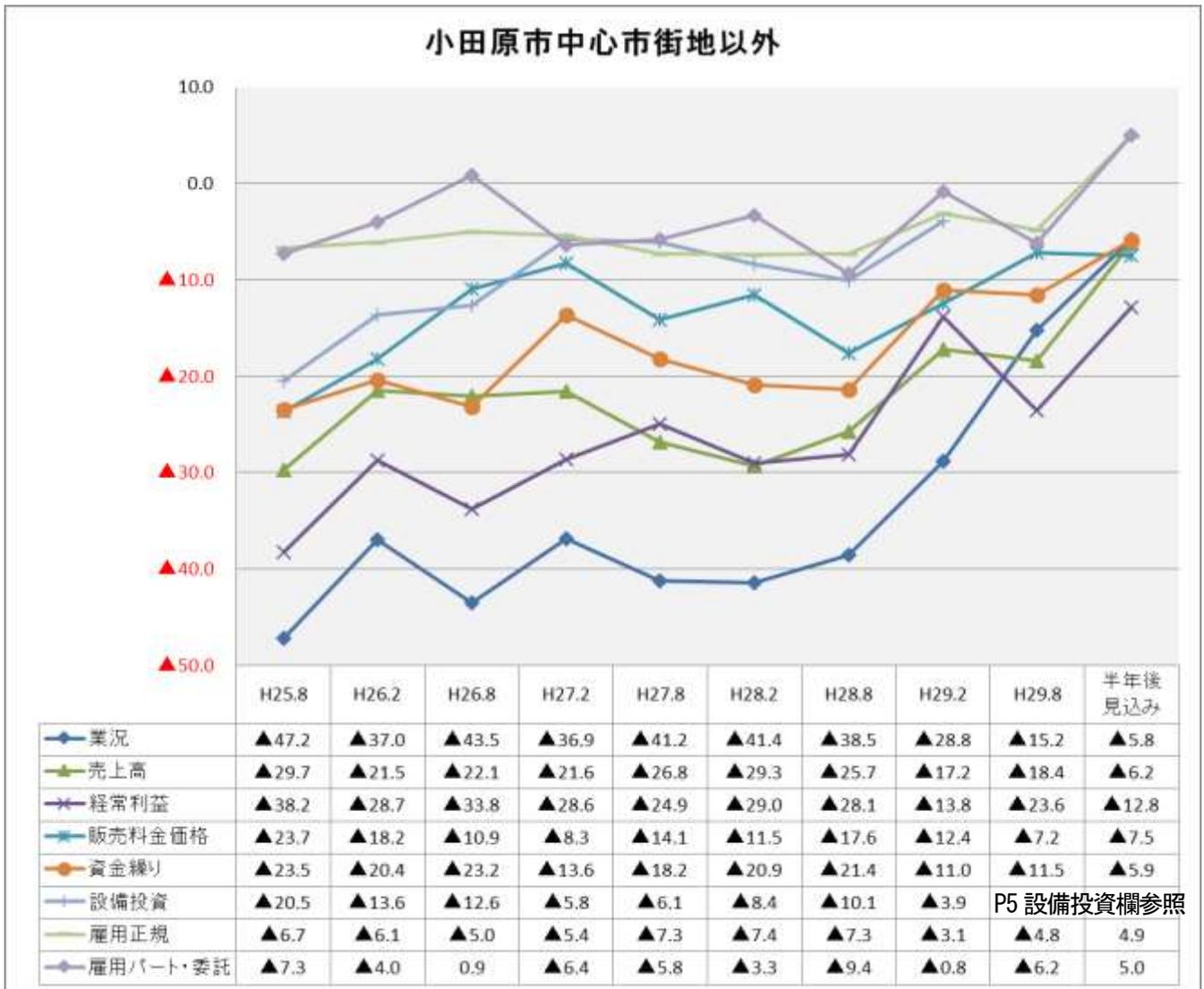


【参考】 これまでの DI 見通しの推移

	H26.2見通し	H26.8見通し	H27.2見通し	H27.8見通し	H28.2見通し	H28.8見通し	H29.2見通し	H29.8見通し
業況	▲22.0	▲27.0	▲31.0	▲15.0	▲42.0	▲28.0	▲22.2	▲15.5
売上高	▲23.0	▲26.0	▲27.0	▲13.0	▲44.0	▲22.0	▲16.1	▲15.6
経常利益	▲23.0	▲31.0	▲32.0	▲24.0	▲45.0	▲33.0	▲28.3	▲20.0
販売料金価格	▲12.0	9.0	▲12.0	3.0	▲15.0	▲7.0	▲7.5	▲4.3
資金繰り	▲23.0	▲19.0	▲25.0	▲8.0	▲30.0	▲20.0	▲19.8	▲14.0
設備投資	▲70.0	▲64.0	▲59.0	▲54.0	▲54.0	▲61.0	▲53.0	▲58.6
雇用正規	4.0	7.0	8.0	12.0	16.0	13.0	20.3	24.0
雇用パート・委託	3.0	8.0	11.0	13.0	9.0	12.0	18.6	24.4

【小田原市中心市街地以外地区】 現況は、雨時々曇り模様が続く。半年後見通しも、雨時々曇り模様の見通し。

- 現況小田原市中心市街地以外業況 DI は、改善。売上高 DI はほぼ横ばいの悪化、経常利益 DI は大幅な悪化。  
 大幅な改善業種 : 卸売業(プラス 13.9 ポイント)、小売業(プラス 13.7 ポイント)、建設業(プラス 23.8 ポイント)、  
 不動産業(プラス 24.3 ポイント)、サービス業(プラス 19.7 ポイント)、飲食・観光業(プラス 14.1 ポイント)  
 大幅な悪化業種 : なし
- 半年後の小田原市中心市街地以外業況 DI 見通しは、改善。  
 売上高、経常利益ともに、大幅な改善見通し。  
 大幅な改善見通し業種 : 製造業(プラス 14.8 ポイント)、小売業(プラス 10.1 ポイント)、飲食・観光業(プラス 15.8 ポイント)、  
 建設業(プラス 10.7 ポイント)、不動産業(プラス 20.9 ポイント)  
 大幅な悪化見通し業種 : その他の業種(マイナス 25.0 ポイント)



【参考】 これまでの DI 見通しの推移

	H26.2見通し	H26.8見通し	H27.2見通し	H27.8見通し	H28.2見通し	H28.8見通し	H29.2見通し	H29.8見通し
業況	▲18.5	▲30.2	▲22.4	▲16.3	▲16.9	▲25.3	▲22.2	▲14.7
売上高	▲17.6	▲28.4	▲18.0	▲13.7	▲18.5	▲25.9	▲22.1	▲15.2
経常利益	▲27.7	▲34.3	▲27.3	▲21.0	▲26.2	▲31.7	▲24.1	▲25.0
販売料金価格	▲16.2	▲7.8	▲9.1	▲2.8	▲11.8	▲11.5	▲15.0	▲12.4
資金繰り	▲17.6	▲26.4	▲20.6	▲17.8	▲20.1	▲20.9	▲18.2	▲14.5
設備投資	▲72.4	▲71.2	▲67.1	▲62.8	▲62.0	▲57.6	▲61.6	▲56.4
雇用正規	5.6	7.5	12.0	11.8	14.1	16.9	15.5	16.4
雇用パート・委託	4.9	6.3	7.9	10.5	11.5	11.2	14.6	15.8

【箱根町地区】 現況は、雨時々曇りから曇り模様へ改善☁️。半年後見通しは、雨時々曇り模様へ悪化☁️。

○ 現況箱根町業況 DI は、大幅な改善。売上高 DI、経常利益 DI ともに大幅な改善。

大幅な改善業種 : 製造業(プラス 50.0 ポイント)、卸売業(プラス 83.1 ポイント)、小売業(プラス 57.7 ポイント)、不動産業(プラス 65.0 ポイント)、サービス業(プラス 21.0 ポイント)、飲食・観光業(プラス 38.5 ポイント)

大幅な悪化業種 : その他の業種(マイナス 20.5 ポイント)、  
今回調査にて、多くの項目でプラスに転じており、回復傾向が続いていることが分かる。

○ 半年後の箱根町業況 DI 見通しは、大幅な悪化見通し。

売上高 DI 見通しは大幅な悪化見通し、経常利益 DI 見通しは若干の改善見通し。

大幅な改善見通し業種 : なし

大幅な悪化見通し業種 : 卸売業(マイナス 36.3 ポイント)、飲食・観光業(マイナス 15.4 ポイント)、建設業(マイナス 11.1 ポイント) 不動産業(マイナス 40.0 ポイント)、サービス業(マイナス 20.0 ポイント)

第 35 回以来続いた回復傾向がいったん収まるのではないかと、という経営判断が見て取れる。



【参考】 これまでの DI 見通しの推移

	H26.2見通し	H26.8見通し	H27.2見通し	H27.8見通し	H28.2見通し	H28.8見通し	H29.2見通し	H29.8見通し
業況	▲22.0	▲20.5	▲18.7	▲20.0	▲74.4	▲11.8	▲7.7	6.5
売上高	▲27.1	▲20.5	▲22.0	▲10.0	▲67.9	▲17.7	▲11.7	2.8
経常利益	▲36.4	▲40.2	▲31.9	▲26.6	▲78.2	▲22.4	▲18.9	▲5.7
販売料金価格	▲5.0	4.7	9.9	5.6	▲33.4	▲8.2	▲9.1	0.0
資金繰り	▲27.1	▲22.4	▲14.3	▲15.6	▲56.5	▲11.7	▲10.4	▲4.7
設備投資	▲69.4	▲53.2	▲60.4	▲43.3	▲80.7	▲54.1	▲55.2	▲65.0
雇用正規	11.9	8.4	17.6	8.9	15.4	22.3	21.3	17.5
雇用パート・委託	5.1	16.8	18.7	15.6	14.1	23.5	23.2	16.4